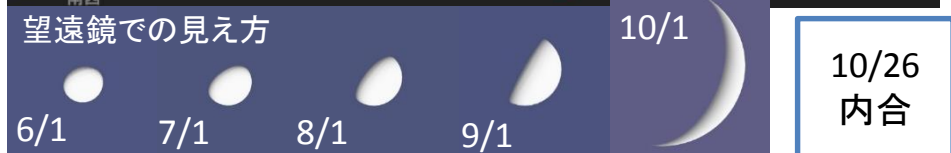


2018年4月～10月

宵の明星

【日没後30分の金星の位置】

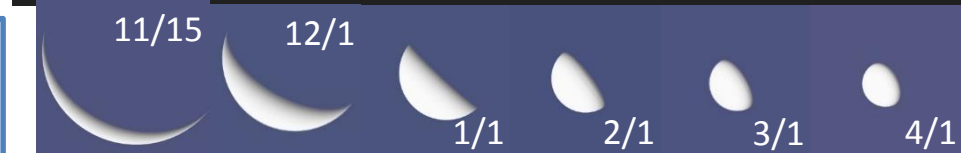


望遠鏡での観察がおすすめ

2018年11月～2019年7月

明けの明星

【日出前30分の金星の位置】



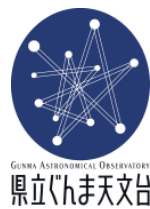
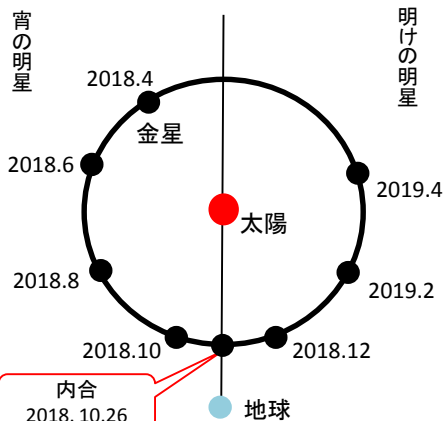
望遠鏡での観察がおすすめ

今年は金星の満ち欠けを継続的に観察できるチャンスです

2018年度(平成30年度) 金星観察のポイント

宵の明星なら、4月～10月上旬にかけて夕方の西の空に観察できます。
 昼間の金星なら、4月～10月上旬と、11月下旬～3月が太陽から見かけ上
 離れるので、観察適期です。望遠鏡の目盛環導入により、昼間でも観察できます。
 特に、8月～10月上旬と、11月下旬～2月にかけては大きく欠けた様子
 や、日々形や大きさが変わっていく様子が観察できます。
 (東方最大離角8/18、最大光度9/21、内合10/26、最大光度12/2、西方最大離角1/6)

※内合は2018年10月26日。この前後約2週間は太陽に近いため観察が困難です。



GUNMA ASTRONOMICAL OBSERVATORY
 県立ぐんま天文台

金星観察
 資料2018

制作:
 ぐんま天文台

図はステラナビゲーターで作成